

は じ め に

115名の第2期ビジョン委員の活動がはじまってから、1年がすぎました。「神戸地域ビジョン～21世紀への夢提案～」に描かれた神戸地域の将来像の実現に向けて「できるところからはじめましょう。さあ、楽しもう神戸」と、そのプロセスへの取り組みに向けた神戸地域県民行動プログラムを携えて、委員の具体的で多様な実践活動が進められてきました。

昨年4月のビジョン委員会総会以降、実践活動の具体をどう進めるかと議論するなかで結成されてきたグループは、農都・神戸づくり、六甲山の楽しみ方、留学生と地域、商店街と地域の結びつけ、環境・循環型社会、地域での子育て支援、青少年育成、高齢者が高齢者のお世話をする、地域づくりの様々な担い手の連携、一芸の出前「楽校」ネットワークづくりなど様々なテーマのものとなっており、グループの会合は50回になろうとしています。この多くの議論のなかから、多くの市民が参加しての色々なテーマの神戸地域夢会議の開催や、六甲山の楽しみ発見マップの作成などの成果が生まれてきました。

「神戸地域県民行動プログラム - 神戸地域ビジョンの実現のための行動提案(第3集)」は、この1年間のビジョン委員会活動のとりまとめを行ったものです。今進められている活動は完了したというものではなく、あくまでも現在進行形のものばかりですが、取り組みの現状から多くの教訓を汲み取っていただき、神戸らしい魅力をもっと高めようとそれぞれの場で主体的に取り組まれている皆さんの活動の一助となればと思います。

来年度は、第2期神戸地域ビジョン委員会の活動が引き続き進められます。

委員会としては、より一層積極的に県民行動プログラムの実践活動を進めていきたい、多くの県民と手を取り合って力強い取り組みをますます進めていきたいと考えています。多様なテーマで、様々な場で取り組まれる豊富な活動の積み重ねが、「楽しいまち・神戸」の実現につながっていけばと願います。

2004年3月

神戸地域ビジョン委員会
委員長 山口 一史